

公益財団法人ソーシャルサービス協会

第 27 回評議員会 議事録

- 1 開催日時 2021 年(令和 3 年)6 月 25 日 (金) 午後 1 時 00 分～午後 3 時 30 分
- 2 開催場所 全日自労 6 F 会議室
- 3 評議員 総数 5 人
- 4 出席した評議員数
内訳 本人出席 5 人
猪野保正 高木哲次 廣瀬肇 福富保名 宮本禮二郎
欠席者名 なし
- 5 監事の出席 伊藤東一 小太刀美津枝
- 6 理事の出席
理事長・神田豊和 常務理事・涌井俊夫
- 7 議 題
議題：第 1 号議案 議事録署名人選出の件
第 2 号議案 第 26 回評議員会、第 38 回理事会以降近々の報告(役員の職務報告等含む)の件
第 3 号議案 2020 年度事業報告の件
第 4 号議案 2020 年度決算報告、監査報告の件
第 5 号議案 2020 年度決算における公認会計士の決算調査報告の件
第 6 号議案 理事の解任、選任の件
第 7 号議案 第 39 回理事会開催の件
第 8 号議案 第 28 回評議員会開催の件
- 8 議長等選任および会議成立の定足数の確認
定刻に至り、神田豊和理事長は開会を宣し、涌井俊夫常務理事が定款 20 条にもとづき評議員会の定足数を報告した。続いて議長に互選で猪野保正評議員を選出し、本日の評議員会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げたあと議題に入った。
- 9 議事の経過の要領と審議状況及び決議の結果
上記のとおり出席があったので、本評議員会は適法に成立した。
- 10 猪野保正議長から議事録作成人についての提起があり、涌井俊夫常務理事を全体で承認した。

第1号議案 議事録署名人の選出の件

猪野議長から指名により、神田理事長が第1号議案である議事録署名人に議長の猪野保正、評議員の廣瀬肇、評議員の高木哲次の両氏を指名した。

猪野議長はその賛否を問うたところ、満場異議なく承認した。

第2号議案 第26回評議員会、第38回理事会以降近々の報告(役員の職務報告等含む)の件

猪野議長からの指名により、涌井常務理事が第2号議案である第26回評議員会、第38回理事会以降近々の報告をおこなった。つづいて、涌井常務理事から①内閣府認定等委員会からの「2020年度事業計画」の修正等依頼の完了の件、②涌井常務理事から新型コロナウイルス関連の各事業所の対応の件、役員の職務執行報告書の提起、別紙資料に基づき4月1日現在の雇用状況掌握の件が報告された。事業所の状況について、神田理事長より補足発言があり、仙台事業所での本年7月末をもっての訪問介護事業部門の閉鎖、京都事業所でのサービス提供責任者など3人が5月にて退職等について報告された。③つづいて涌井常務理事から当座の本部資金繰り表についての報告、④神田理事長よりワークセンターに対する「流動資産の本部統括の依頼文書」について経過報告された。

役員の職務執行状況について、神田理事長、涌井常務理事の両名より報告があった。

つづいて涌井常務理事より第2号議案に関連する協議事項として①公認会計士の委託契約の解約、税理士との新規委託契約の締結の件、②「育児・介護休業等に関する規定」の見直しの件、③第二次中長期計画の検討のための委員会の構成の件について提案され、評議員2人(猪野・高木)、理事3人(神田・入月・野崎)責任者・涌井常務理事を確認した。

審議のなかで、宮本評議員から、今月初めに「京都市財政破綻になるかも」という報道があった。ワークセンターは大丈夫なのか、入札などで影響はないかという意見、理事長からは「今年は、去年の仕事はほぼ入札が取れている」との発言が出された。

猪野議長は協議事項の承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。

つづいて、猪野議長は第2号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。

第3号議案 2020年度事業報告の件

猪野議長からの指名により、涌井常務理事から2020年度事業報告がされた。

2020年度の事業運営は、全事業所が初めて対応が迫られたコロナ禍の中での事業の継続と人材の確保、そして事業の前進で赤字体質を克服するという2つの大きな目標に向かって進めたこと。

その結果、安全を確保する取り組みの徹底を貫き、業務力量の質的強化を重視することで、大きな感染の影響を受けることなく、経常剰余の黒字を確保したことの報告があった。

審議の中で高木評議員からは、「京都市は5年後に財政破綻しそうだという報道がある。いま生活困窮者が増えている、行政が生活負担をしている現状を止めてしまうと、もっと働こうとする人が増えてなくなるのではないか。ワークセンターが動くことで、働けるような状態にもっていくことが財政破綻を補う方向になってくるのではないかと思う。需要は増えてくると思う」との発言が出された。

猪野議長は第3号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。

第4号議案 2020年度決算報告、監査報告の件

猪野議長からの指名により、冒頭、涌井常務理事から2020年度決算の概要について報告があった。

2020年度決算結果は、赤字体質からの改善を目標に掲げ、事業活動を展開してきた結果として

2,340万円の黒字を達成することができた。昨年は5事業所で赤字となったが、今年度は6事業所で黒字という結果になり、1事業所が赤字となった。前年の-1783万円の赤字を4,123万円の改善を図る奮闘でした。業種別にみても、清掃事業では前年の-2,908万円の赤字を387万円の黒字に(3,295万円改善)、介護事業は前年-251万円の赤字を668万円の黒字に(919万円改善)、生活困窮支援事業も前年-5,974万円の赤字を782万円の黒字に(6,756万円改善)改善したことの報告があった。

つづいて、小林弘一経理担当より、2020年度決算につき、損益計算書、貸借対照表に基づき詳細な報告がされた。つづいて、猪野議長より決算に対する監査報告を求められ、伊藤東一監事より決算に対する監査報告がされた。監査報告の概要は5月21日に実施した監査報告として、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で公益認定後の至上命題である赤字体質の改善を達成できたことを評価。その要因として、研修や人材育成で事業の質の向上を進めたこと、全財団が一体として事業を進める運営システムの改善を指摘している。そして引き続き事業所で抱える困難は全財団の課題とすることを示唆している、と報告された。

4号議案に対する審議の中では、高木評議員より、「全体の65%が人件費で占められている。人を増やせば何らかの仕事が増えてきたり、行政にも訴えかけられると思う。営業外収益が少ない。高齢者の雇用だったり、正規・非正規にかかわらず補助金とか助成金とかがもらえると思う。そうすればだいぶ費用負担が補えるのではないか。まだまだ利益をだせる幅があると思う」との発言がされた。

猪野議長は第4号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。

第5号議案 2021年度決算における公認会計士の決算調書所見の件

猪野議長からの指名により、涌井常務理事が2020年度決算についての公認会計士の決算調査所見について報告した。

猪野議長は第5号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。

第6号議案 理事の解任、理事の選任の件

猪野議長からの指名により、神田理事長から、理事の解任、選任の件について提案された。神田理事長より川手益巳理事の解任と野崎佳代子氏の選任について提案された。

猪野議長は第6号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。

第7号議案 次回第39回理事会開催の件

猪野議長からの指名により、神田理事長から次回第39回理事会の開催について9月27日(金)午後1時から4時の提案がされた。

猪野議長はその第7号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。

第8号議案 次回第28回評議員会開催の件

猪野議長からの指名により、涌井常務理事から次回第28回評議員会の開催について2022年1月21日(金)午後1時から4時の提案がされた。

猪野議長はその第8号議案の承認を問うたところ、満場異議なくこれを承認した。


以上をもって、すべての議案の審議を終了したので、午後3時30分、猪野議長は閉会を宣言し解散した。

上記の決議を確認するため、議長および議事録署名人の評議員2人がこれに署名捺印する。

2021年(令和3年)3月28日

公益財団法人ソーシャルサービス協会
第27回評議員会

議事録署名人

議 長 猪野保正 

評 議 員 廣瀬 肇 

評 議 員 高木哲次 